



赤磐

平成19年

9

月議会

# 市議会だより

No.10



## も く じ

|             |     |
|-------------|-----|
| 9月議会のあらまし   | 2P  |
| 委員会のうごき     | 6P  |
| 決算審査特別委員会   | 10P |
| 10人の議員が一般質問 | 12P |
| 各委員会構成      | 18P |
| 議長あいさつ      | 20P |

発行 平成19年11月8日 編集 赤磐市議会広報編集特別委員会 所在地 〒709-0898 岡山県赤磐市下市344番地 TEL(086)955-2945 FAX(086)955-5348

100



環境に配慮した大豆インキと再生紙を使用して作られています。



是里ワインの醸造場

# 9月議会のあらまし

## 議案審議

9月定例会を、9月3日から9月27日まで、25日間の会期で開催した。  
議長、副議長を選出し、報告案件2件を承認、承認案件16件を承認、議案11件、議員発議の意見書2件を可決した。  
また、請願7件（継続審査1件を含む）のうち2件を採択、5件を不採択とした。

### 議長に井上稔 副議長に実光 守氏を選出

今回赤磐市議会では、議長に井上稔朗議員、副議長に実光守議員を選出した。

### 是里ワイン 醸造場

**問** 昨年、経営状況については販売計画と醸造計画の整合性を十分とり、適正な在庫管理を行うと言われた。

**答** 在庫管理、経費の削減を行ったにもかかわらず、なぜ経営は改善されないのか。

経営の安定化のため

に、製造原価を下げたい。人件費をはじめとするコストを縮減するということにすでに取り組んでいる。

今年度は、500キログラムほどの赤磐産清水白桃を使ったワインを試作した。ワインゼリーの製造販売も検討している。新たな特産品としてPRしていきたい。

**問** ワインのおり、破棄量1597リットルは、長年在庫を抱えているから増えているのか、製品のできが悪く多いのか。

**答** 醗酵が終わったばかりのワインは、果皮、果肉などの不純物で混濁している。

醗酵終了から1カ月以内に、ワインとおりを分離させて、おりは堆肥として利用している。

### 赤磐消防組合

**問** 瀬戸町が岡山市になつたため、解散に伴う打ち切り決算であるのに、赤磐市で決算する法的根拠は。

**答** 解散に伴う決算は、

旧組合の管理者が行い、構成団体の長に送付、構成団体が監査し、議会が認定するように規約で定められている。

**問** 現在の赤磐消防本部の場所は移転しなければならぬのではないのか。組合のときに調整基金を

積んでいたのはどうなったのか。

**答** 現在の場所では小さいこともあり、場所を見つけて新築移転しなければならぬと思う。組合の基金は解散時に一般会計に繰り入れた。

### 不納欠損

**問** 税金、住宅使用料、保育料などの滞納が相当の金額になっている。

不納欠損は、経過年数だけか、実態を調査後なのか、法的な根拠はどうなのかを説明せよ。

**答** 年数だけでなく、会社などの倒産や、生活困

## 18年度一般会計決算

窮者などで徴収は不可能となれば、法的根拠により不納欠損としている。

### 農業総務費

**問** カップリングパーティーの負担金が出ているが、その後の事業報告をせよ。

**答** 赤磐市と和気町の結婚推進協議会などが共催

でしたものに、4万7000円を負担した。

成果としては、本市が6組、和気町が2組のカップルが誕生している。

**問** 天然ライスに積んでいた基金は今後どう処理するのか。

**答** 株式会社天然ライスは、清算をし解散しているが、地域食材供給施設（次のページに続く）



佐伯北診療所

はまだ残っているので、基金はここに積んでい

る。十分協議をして今後の

方向づけをしたい。

## 18年度特別会計決算

### 国民健康保険

**問** 過去、吉井町の時に佐伯北診療所で、町の補助で人間ドックをしていたが、できないのか。

**答** また診療所の赤字補てんは単年度なのか。

**問** 診療所全体の経営を考えながら、今後も検討していきたい。赤字補てんは、単年度で人件費や事務的経費を補てんしている。

### 介護保険

**問** 不納欠損が増えてい

**答** 91人を不納欠損としている。介護保険法に基づき、2年経過で時効となり、それを適用し不納欠損としている。

**問** 普通徴収の約20パー

セントが未収である。これが不納欠損へ結びつくのではないか。

**答** 介護保険料の納入については、未収の場合は督促・催告の通知、そして臨戸訪問をしている。

### 下水道事業

**問** 下水道の未接続の理由、その対策は。

**答** 接続資金の問題、高齢者世帯や合併浄化槽のため支障がないなどが考えられる。今後、広報紙でのPR、臨戸訪問での説明等により、接続率アップに努力する。

### 市立熊山病院事業

**問** 熊山病院へいくら繰り出しているのか。

**答** 18年度では約2億4

50万円である。

**問** 熊山病院への繰り出しを少なくする対策は。

**答** 市民の皆様に必要なしてもらえような病院にしたいと考えており、19年度中を目途に、今後の方向性を出していきたいと考えている。

**問** 減収になった原因は、増収の対策は。

**答** 診療報酬の改定、投薬期間の延長、建物の老朽化、個人負担の増額による受診控え等様々な要因が考えられる。

職員が情報を共有し、経費の削減と、患者本位のサービス提供の徹底等、意識改革を推進し業務改善に取り組んでいる。

**問** 職員の待遇の改善はいかに。

**答** 各部門で待遇改善の計画を立て、取り組んでいる。

**問** 特徴のある病院にすべきでは。

継続するのは、限界がある。縮小・拡大の二面から検討したい。

## 財産取得

**問** 乗務する救急救命士の資格取得は。

**答** 年に1回の国家試験に向け、救急振興財団九

州研修所へ派遣している。全救急に対し、95・67

パーセントの救命士が出勤している。

## 職員等による公益通報に関する条例

**問** 実効性のない骨抜き

**答** 審査会が必要な措置を講じることができる。

必要措置とは、公表であったり、刑事告発を含むものである。

**問** 審査会委員3人の選出方法は。

**答** 岡山弁護士会から推薦を受ける。弁護士以外には司法書士（赤磐市在住）・大学教授（大学から推薦を受ける）等を考

えている。

**問** 審査会の事務所の場所。

**答** 委員さんの自宅、あるいは事務所である。

**問** 関連して、口利き条例等があるのでは。

**答** 提言・記録を残せるような要綱を現在検討中。

**問** 日額8500円は適当か。

**答** 赤磐市情報公開不服審査委員会委員と同額にしたい。





修繕予定の山陽児童館のボイラー

# 19年度補正予算

## コミュニティ 助成事業

**問** 仁美地区青少年育成協議会の構成人数と、活動は何か。また、助成金はいくらか。

**答** 小学生から一般の人まで50人ほどが従来より剣道を通し活動している。世代、地域を越えたコミュニティの醸成と、青少年の健全育成を推進している。

この活動に必要な剣道防具等の備品を購入、活動を将来に向けて展開していくものである。助成金は190万円である。

**問** 周匝区の緑化推進事業の内容・事業費・今後の維持管理はどうするの

**答** 昭和60年頃に城山公園周辺に桜を植栽し、維持管理しながら地域の憩いの場としてコミュニティ

ティの醸成を図ってきたが、病害虫の影響から枯れが目立ち始めたため、今回助成金200万円を計上した。

維持管理については、周匝区で行うということになっている。

## 山陽清掃センター 解体撤去 工事

**問** 事業がなされてないのに予算の組み替えをすべきかどうか疑問である。現在の進捗状況はどうか。

**答** 事業実施後に精算をし、補正すべきだが、国への事業計画の中で一般廃棄物処理事業債の対象と認められる見込みとなったので今回財源の補正をした。

現在の進捗状況は、8月に入札を行い業者を決定している。

## 山陽児童館 ボイラー修繕

**問** ボイラーの修繕の内容は何か。

**答** 設置後30年を経過し腐食により穴が開いており、修理不可能であり、機器の更新を行う。

配管は既存を使用し、ボイラーのみ取り替えるので修繕費として計上した。

**問** 灯油、ガス、深夜電力等での検討はしたのか。

**答** 検討の結果灯油ボイラーが安いということで決めた。

## 現在の図書館 の改修

**問** 改修設計委託料の内容はどうか。

**答** 現在建設中の新中央図書館が、20年2月末完成予定であり、現図書館を本庁舎の一部として改修する設計の委託料である。執務室・会議室・書庫等に利用したい。

**問** 産業振興課や、青少年育成センター等が入るのか。

**答** 全ての配置について見直しをかけ検討していく。

## 合併支援道路 負担金

**問** 合併支援道路とはどのようなものか。

**答** 合併後の基幹道路について、岡山市町村合併支援プランに基づいて県が指定した道路である。

**問** 岡山吉井線が、市で唯一の指定で、今回710万円が計上されているが、今後はどうなるのか。

合併支援道路で他に適用されるような道路はないのか。

**答** 美作・岡山道が対象になっている。今後について、指定はされていないが県道の工事については事業費、国の補助金を除き県の持つ事業費の15パーセントが市の負担と規定されている。今回、合併支援を指定されており約半分の7・5パーセントが市の負担で県へ支払うものである。

今後については市内の岡山吉井線の工事の進捗に応じて7・5パーセントが負担金の対象となる。

## 資格審査特別 委員会の設置

地方自治法第92条の2の規定による資格決定要求書が提出された。

地方自治法第110条及び赤磐市議会委員会条例第7条の規定により、9月27日開催の本会議において、議員の資格決定に係る審査及び調査のため、資格審査特別委員会が設置された。

## 反対討論

認第2号平成18年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について、認第3号平成18年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、認第6号平成18年度赤磐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、認第15号平成18年度赤磐市水道事業会計歳入歳出決算の認定について

障害者、高齢者への配慮がされず、減免もされず、市の独自性も発揮されていない。弱いものの立場に立った予算編成を求めるため原案に反対する。

## 請願

日豪をはじめとするEPA路線を転換し、自給率の向上と食糧主権にもとづく農政を求める請願 (不採択)

【請願の要旨】 日豪EPA交渉は中止し、EPA路線の転換を図るとともに、食糧主権にもとづいて、国内生産を拡大し、食糧自給率を向上させる施策を政府に要望すること。

【賛成討論】 日本が食糧自給率を高める政策に転換することは、日本の食の安全ということにとどまらず世界の食糧需給状況を改善することからも必要であるため賛成である。

品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の育成を求める請願 (不採択)

【請願の要旨】 品目横断対策は中小農家を切り捨てるものであり、農村の疲弊を加速させる。政府のきめ細かな支援策により、農家の担い手を育成することを要望すること。

【賛成討論】 品目横断対策は中小農家を切り捨て農村の疲弊を加速するため見直しが必要であるので賛成である。

アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、全頭検査への予算措置の継続を求める請願 (不採択)

【請願の要旨】 アメリカ産牛肉に対して国民は根強い不信感を抱いている。都道

府県の行う20ヶ月齢以下のBSE検査の助成を継続することを要望すること。

【賛成討論】 消費者のBSEへの不安は根強く、国は責任を持つことと、アメリカの圧力に屈しないことが必要であると考えるので賛成である。

飼料価格の高騰による農家負担の軽減と、国産飼料の増産、循環型畜産の発展を図る施策を求める請願 (不採択)

【請願の要旨】 配合飼料価格安定制度の基金を積み増しすること、加工原料乳補給金や食肉・子牛の基準価格を引き上げ、畜産経営の安定を図ること、飼料自給率を引き上げ循環型畜産経営に転換していく施策を要望する。

【賛成討論】 日本の畜産は国民に良質のたんばく質を供給している。安全で素性のはっきりした国産の食肉、乳製品への需要が高まっているので賛成である。

教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願書 (採択)

【請願の要旨】 教育は未来への先行投資であり、自治体の財政力や保護者の家計の違いによって教育格差の生じないよう教育予算を確保充実させることを要望する。

国・県に「私学助成の充実を求める意見書」の提出を要請する請願書 (採択)

【請願の要旨】 高校生一人当たりの公費負担は公立の3分の1、教育費全体で見ても公立の約七割である。公私格差を解消するために私学助成の拡充を要望する。

地方財政に関する意見書採択を求める請願書 (不採択)

【請願の要旨】 地方交付税を一方的に削減しない、地方財政計画は社会保障関係経費が反映されたものであること、などを政府に要望する。

【賛成討論】 無駄な公共事業を抑制し、地方自治体が住民福祉の増進に必要な財源を保障することが必要であるため賛成である。

## 意見書提出

教育予算の拡充を求める意見書

【提出先】 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣

私学助成の充実を求める意見書

【提出先】 文部科学大臣 岡山県知事

## 総務常任委員会

9月20日総務常任委員会を行った。報告1件、議案4件、請願1件について審査した。

### 赤磐市土地開発公社の経営状況

**問** 大刈田地区の、内山工業の拡張用地は土地開発公社が買い上げた方がよかったのではないか。

**答** 内部調整の結果、宅地等開発事業特別会計で処理した。



内山工業の拡張用地（大刈田）

### 財産の取得について

**問** 高規格救急車は、購入後10年程度の買い換えだが、古い車は廃車するの。

**答** 現在稼働中の車を車検・点検等のための予備車に回し、予備車を廃車する。



高規格救急車

### 赤磐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

**問** 外国語指導助手の報酬アップの理由は、

**答** 税制改正のため、税控除後の金額が、年額360万円を下回るのので1万円アップした。

### 赤磐市職員等による公益通報に関する条例

**問** 内部告発的なことを対象にした条例か。

**答** 内部で不当・違法があった場合、もみ消しが起こらないように、公正に対応するためのもの。

**問** 虚偽・悪意の通報は懲戒の対象か。

**答** 名前を明らかにすることで、ある程度は防止できると考えている。虚偽であった場合、懲戒の対象となる。

### 一般会計補正予算

**問** 償還金利子及び割引料の1300万円はなぜこの時期なのか。

**答** 内訳は法人税1000万円・固定資産税300万円。事業所の確定申告は5月末で行われるものが多く、中間申告で払いきずの時に還付が生じることが、今年度は、還付が多かった。固定資産税300万円は、地目の賦課誤りがあり、地方税法に基づき5年間分をさかのぼり還付する。

**問** なぜ弁護士が入るのか。

**答** 長期にわたり納税されておき、5年分の還付で適当かどうか、双方で確認のため。なお、市と納税者で話がついた後、総務常任委員会へ報告し、納税者へ還付する。それまでは固定資産税分は執行保留とする。



## 厚生常任委員会

9月14日厚生常任委員会を行った。  
議案3件について審査をした。

### 一般会計補正予算

**問** 国民生活基礎調査委託金とはどういう性質のものか。

**答** 厚生労働省が3年毎に行っている国民生活基礎調査である。

内容は、世帯構成、家

計、支出状況、課税、納

税状況、世帯員の性別、年齢、職業、転出入、健康状態、収入状況、所得

状況を調査するものであり、吉井地域の中山地区で調査した。

### コミュニティ助成事業

**問** コミュニティ助成事業助成金390万円の内容の説明を。

**答** 宝くじの普及広報事業として、コミュニティ活動に助成されているものである。今回は仁美地区青少年健全育成協議会が剣道備品の購入をする。

事業費は195万2千円で、助成金が190万円である。

また、周匝区が事業主体で、城山公園周辺に桜さつき、つつじ、けやき等の植樹や管理をする。事業費は206万3040円で助成金が200万円である。

**問** コミュニティ助成事業の申し込みはどのようなものか。

**答** 市民生活部へ相談してもらえば、県を通じて申請を行う。周知については、今後広報または自治連合会、町内会長会議等を通じて知らせたい。

### 鴨前の旧ごみ焼却施設の解体撤去工事

**問** 鷹井処理費の事業内容は、

**答** 工事概要については、工場棟及び管理棟で約192・5平方メートル。

焼却設備については、煙突、灰出しコンベア、炉体、灰出しピット他。

工期については、20年3月31日まで。

地元との約束の中で10月から工事を始める。環境調査については工事前、工事中、工事後に行う予定である。

### 介護保険特別会計補正予算

**問** 特定高齢者の人数及び通所型介護予防事業の利用者は何人か。

**答** 18年度の実績では特定高齢者とみなされる人が約120人、内22人が通所型介護予防事業を利用した。

また、19年度の介護予

防健診等を行った結果、国の基準緩和により特定高齢者とみなされる人が現在で487人出ている。

10月から60人くらいは通所型介護予防事業の利用が見込まれている。



剣道の練習に励む子どもたち



焼却施設解体工事（鴨前）

## 産業建設 常任委員会

9月18日産業建設常任委員会を行った。  
報告1件、議案5件、請願4件について  
審査した。

### 住宅条例

**問** 公営住宅に暴力団員  
を入居させない為の調査

**答** 方法は、  
入居時に誓約書をと  
り、警察への照会の同意  
書をもらい調査する。



市営住宅（福田）

### 是里ワイン醸造 場の経営状況

**問** 経営損失約446万  
円の要因と今後の対策  
は、また経営移管などの  
考えはないか。

**答** ドイツの森の入場者  
数の激減と、いつときの  
ワインブームが去ったこ  
とによる販売の減少が主  
なものである。  
今後、スモモやリンゴ  
のワインの委託醸造を受  
けたり、ワインゼリーや  
白桃ワインの新商品に取  
り組む。商工会による赤  
磐ブランドの認定も得  
た。小売店への営業強化、  
販路拡大に努める。  
指定管理や農業公園ド  
イツの森への引き渡し  
等、方向性を出していき  
たい。

### 一般会計補正予算

#### 野菜・果樹 生産振興事業

**問** 補助金の具体的な内  
容は、

**答** 元気おかやま園芸産  
地作り事業で、黄ニラハ  
ウス5棟を2棟追加し7  
棟にする。  
ピオーネ王国推進事業  
では、非破壊糖度計購入  
などである。  
また、くだもの王国推



非破壊糖度計

#### 鳥獣害防止 対策事業

進事業は、当初桃苗木の  
千種白鳳のみであった  
が、おかやま夢白桃を追  
加するものである。

**問** 獺犬に対しての助成  
は考えられないか。

**答** 駆除班に対して助成  
をしているが、今の制度  
では獺犬に対しての助成  
はできない。

### 地域農業振興 補助金

**問** 田んぼの学校支援推  
進事業の対象は仁美小学  
校、城南小学校だけなの  
か。

**答** 両校は、3年間の期  
限付で県の補助事業によ  
り総合体験学習の一環で  
実施している。  
他の学校はボランティア  
で行っている。

### 特別会計 補正予算

#### 宅地等開発事業

**問** 工事請負費の補正は  
なぜ必要か。

**答** 大苅田地区にて土地  
を購入し工業用地として  
造成する。



## 文教常任委員会

9月4日と19日に文教常任委員会を行った。  
議案2件、請願2件について審査した。

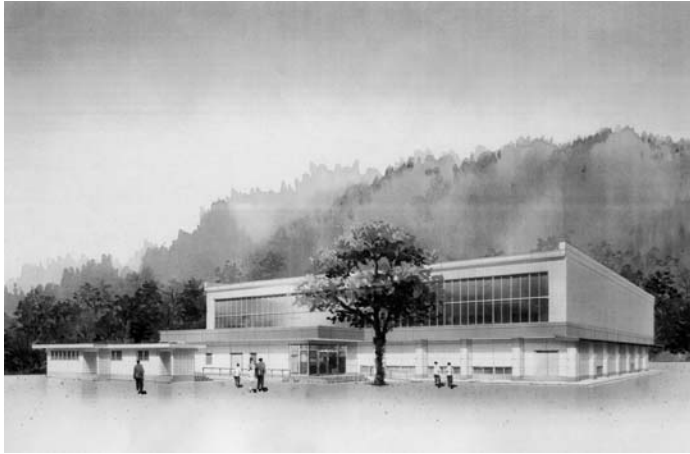
### 赤坂中学校体育館新築工事請負契約

**問** 業者の工事実績は

**答** (株)荒木組の施工実績については笠岡市の総合体育館、岡山の総合グラウンドの新築体育館、就実大学の体育館を施工

した。

(株)東本建設は高陽中学校の体育館の耐震補強工事、山陽小学校体育館の耐震補強工事の実績がある。



赤坂中学校体育館工事（完成予想図）

**問** 談合を防ぐ努力はしているのか。

**答** 7月から業者名の事後公表を行っている。また、入札時には工事の内訳書を徴収し確認している。

**問** C級も入れているが特認ではないのか。

**答** 赤磐市建設工事共同請負制度取扱要綱第4条によりA級については市内に2社しかなく、B級を入れても足りないののでC級の特定建設業許可を持っている業者を入れたが、特認とは思っていない。

※特認Ⅱ9月1日から「指名委員会が特に認める」とした事業者

**問** 建設業者のランクについての説明を。

**答** 基本の点数は県の点数をもとに市も準用している。

建築工事の場合830～1049点までがAランク、760～829点までがBランク、680～759点までがCランクである。特Aランクは1050点以上である。

**問** ラジオ体操の概要・成果について説明を。

**答** 市民の一体化を今以上に促進することを目的に誘致した。

参加人数は2000人で雨にもかかわらず多数の参加を得た。事業費は約200万円である。



ラジオ体操の様子（山陽ふれあい公園）

### 一般会計補正予算

**問** 今後もこういう事業はあるのか。

**答** 今後検討していく。

**問** 今回の事業のような調整費補助金は申請すればすぐ出るのか。

**答** 必ず出るというものではない。

今回のラジオ体操のような特別な事業では市が申請し、県の審査で交付

**問** 最近小学校などではラジオ体操は教えていないのか。

**答** 昭和50年代の後半からストレッチ体操が普及し、準備運動としてのラジオ体操は姿を消しつつある。

運動会では演技として行うなど、必要なときには指導している。

決定があれば出る。

## 決算審査 特別委員会

9月12日に決算審査特別委員会を行った。18年度赤磐市一般会計と、特別会計12議案並びに公営企業会計2議案、及び年度途中で解散した赤磐消防組合一般会計について決算審査を行い、すべて認定すべきものと決した。

### 一般会計

**問** 市税の収入未済額が多いが、現年度分の納付率を上げるためにも、口座振替制度の浸透をはかるべきではないか。

**答** 口座振替の啓発についてチラシなどを作りPRに努めたい。

**問** 自主財源をどのように増やそうと考えているのか。

**答** 税収の徴収率を上げる。企業誘致を最優先に行い税収を上げる。公共施設の見直しを早急に取り組みたいと考えている。

**問** 管理職手当の10パーセント減額で年間約700万円の削減になるのか。

**答** 管理職手当の全合計が決算額7100万円となり、10分の1で約700万円となる。

**問** 地域審議会はいままで開くのか。委員の再任はあるのか。必要性はあるのか。

**答** 設置期間は、平成27年3月31日までの10年間で、任期は2年で再任は可能。19年度から新市建設計画をもとに各地域が抱える課題について審議してもらい、市長へ答申をいただくので必要である。

**問** 配食サービスで吉井地域の利用者が前年に比べ半減しているが理由は何か。

**答** 利用されていた人が入院とか死亡で56人から24人減となった。

**問** 生活保護費の扶助費の不用額が多いのはなぜか。

**答** 高額な医療費がなかったことにより執行残となった。

**問** 都市計画マスタープランの進捗状況はどうなっているのか。

**答** 現在、県南都市計画区域を外して、市独自の非線引きの都市計画区域の方向へ持っていきたいと県と折衝している。

### 特別会計

#### 国民健康保険

**問** 佐伯北診療所及び是里診療所で一般会計から700万円を繰り入れているが、それで運営できるのか。

**答** 700万円は佐伯北診療所に係るもので、一般会計から人件費等の不足分を繰り入れている。是里診療所については、医師派遣事業で行っており、医師の負担金は3分の2が国・県からの補助金であり、赤磐医師会病院に払っている。

#### 介護保険

**問** 要介護の認定をされてもサービスを受ける人が少なくなっているがどうしてなのか。

**答** 18年度の利用率が82・8パーセントで約18パーセントの人は使われていない。本人の割負担も要るので、住宅改修のみの利用の人や念のため認定は受けるが、まだ家族で対応できるという関係で約18パーセントの人は利用されていない。

#### 宅地等開発事業

**問** 執行部の努力が足りないのではないのか。

**答** 子供を持たれた人の入居の場合特典をつけたら、住宅展示場等へもパンフレットを持っており、問い合わせや来場の人もおられる。引き続き宅地分譲の販売促進に努めていきたい。

### 公営企業会計

#### 水道事業

**問** 5000万円の赤字の原因は何か。

**答** 節水等により給水量が見込みより約9000トン少なく給水収益が伸びなかった。また、有収率が落ちたことによる。

#### 熊山病院事業

**問** 市立熊山病院運営委員会を取り組んでいる改善計画についてどう考えているのか。

**答** 17年度に比べ入院患者が減少したことにより収益が7615万7000円も減少となった。田中院長を筆頭に職員一丸となって業務改善計画に取り組んでいる。院外薬局並びに給食の外部委託、佐伯北診療所との連携など関係機関に意見を聞きながら業務改善していく。

【平成18年度 赤磐市決算額】

| 区 分         |                    | 歳 入                                       | 歳 出                                          | 歳入歳出差引額                                               |
|-------------|--------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 一 般 会 計     |                    | 209億5787万円                                | 200億2012万円                                   | 9 億3775万円                                             |
| 特 別 会 計     | 国民健康保険特別会計（事業勘定）   | 41億3839万円                                 | 39億6303万円                                    | 1 億7536万円                                             |
|             | 国民健康保険特別会計（診療勘定）   | 1 億2888万円                                 | 1 億1276万円                                    | 1612万円                                                |
|             | 老人保健特別会計           | 45億6363万円                                 | 45億2593万円                                    | 3770万円                                                |
|             | 介護保険特別会計（保険事業勘定）   | 27億5096万円                                 | 25億9680万円                                    | 1 億5416万円                                             |
|             | 介護保険特別会計（サービス事業勘定） | 2548万円                                    | 2349万円                                       | 199万円                                                 |
|             | 訪問看護ステーション事業特別会計   | 1703万円                                    | 1567万円                                       | 136万円                                                 |
|             | 簡易水道特別会計           | 3 億8410万円                                 | 3 億4649万円                                    | 3761万円                                                |
|             | 下水道事業特別会計          | 42億3249万円                                 | 41億1794万円                                    | 1 億1455万円                                             |
|             | 宅地等開発事業特別会計        | 3574万円                                    | 1459万円                                       | 2115万円                                                |
|             | 竜天オートキャンプ場特別会計     | 1473万円                                    | 1346万円                                       | 127万円                                                 |
|             | 田原用水特別会計           | 360万円                                     | 279万円                                        | 81万円                                                  |
|             | 土地取得特別会計           | 1818万円                                    | 524万円                                        | 1294万円                                                |
|             | 墓地事業特別会計           | 2449万円                                    | 2448万円                                       | 1 万円                                                  |
|             | 財産区特別会計            | 2576万円                                    | 2087万円                                       | 489万円                                                 |
|             | 計                  | 163億6346万円                                | 157億8354万円                                   | 5 億7992万円                                             |
| 合 計         |                    | 373億2134万円                                | 358億0366万円                                   | 15億1768万円                                             |
| 公 営 企 業 会 計 | 水道事業会計             | （収益的収入）<br>10億4029万円<br>（資本的収入）<br>3282万円 | （収益的支出）<br>10億4597万円<br>（資本的支出）<br>2 億7610万円 | （収益的収入支出差引額）<br>△568万円<br>（資本的収入支出差引額）<br>△ 2 億4328万円 |
|             | 熊山病院事業会計           | （収益的収入）<br>7 億2925万円<br>（資本的収入）<br>2844万円 | （収益的支出）<br>7 億2175万円<br>（資本的支出）<br>5375万円    | （収益的収入支出差引額）<br>750万円<br>（資本的収入支出差引額）<br>△2531万円      |

※水道事業会計、熊山病院事業会計の資本的収支の不足額は、過年度損益勘定留保資金で補てんしている。  
※一般会計では、地方自治法第233条の2の規定に基づき、歳入歳出差引額のうち6億円を基金積立てしている。  
※歳入歳出差引額には、翌年度へ繰り越すべき財源が含まれている。

【平成18年度 赤磐消防組合決算】

（平成18年4月1日～平成19年1月21日）

| 区 分  | 歳 入       | 歳 出       | 歳入歳出差引額   |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 13億4782万円 | 7 億2381万円 | 6 億2401万円 |

※歳入歳出差引額は組合解散に伴い、赤磐市に引き継がれた。  
※平成19年1月22日以降の常備消防関係は一般会計決算に含まれる。

|                                                                                                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <b>決算審査特別委員会</b>                                                                                                                         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【目 的】平成18年度赤磐消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について<br>平成18年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について<br>平成18年度赤磐市特別会計歳入歳出決算の認定について<br>平成18年度赤磐市公営企業会計歳入歳出決算の認定について<br>に対する審査 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【委員定数】9人                                                                                                                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【委 員】委員長 下山 哲司 副委員長 樫野 志郎 委 員 実光 守<br>委 員 山下 浩史 委 員 福木 京子 委 員 松田 勲<br>委 員 下村 脩 委 員 武本 一郎 委 員 佐藤 武文                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

決算審査の経過  
審査にあたっては、各常任委員会の所管部分毎に執行部の説明を求めながら順次すすめた。事前に本会議で説明や質疑を行っていたが、問題点については、更に細部説明を求め深く追及して審査した。不納欠損や収入未済額は、前年度より更に増大しており、執行部の一層の努力と悪質滞納者への強い姿勢を求めた。全議案について、認定すべきものと決した。



## 一 般 質 問

# 市の考えを問う

10人の議員が登壇し市の考えをたしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問

赤磐市の財政は大丈夫か

答

行財政改革により  
歳出削減を図る



佐藤武文議員

問 将来の財政面に不安があり、市民生活に影響が生じ、単町では行財政運営が厳しい状況から合併を選択した。  
なぜ、このような早い時期に財政が悪化したのか。議会と執行部はこの問題について真剣に議論を行っていない。  
職員の人件費について、市民から厳しい批判の声がある。定数を考え

ると、管理職手当は減額してもいいのではないか。

答 今後の行財政改革の推進に当たり、議員定数も減員すべきである。合併してよかったと実感してもらえ、行財政改革に取り組みべきではないか。  
本市の財政は、歳入は伸びず、歳出は削減できずの傾向にあった。  
継続的な行財政改革を

最優先に実施し、健全な財政運営を図る。

職員の経費削減は、意識改革・業務の効率化など一丸となって進める。管理職手当は、9月から10パーセントをカットする。

選択と集中の観点から、活力ある

安全安心対策・  
消防行政

問 消防業務は、専門的な意見を仰ぐことが多く、諸機関が必要ではないか。

答 消防の拠点施設は、大変重要である。市民の安全確保という大きな目的から庁舎の建て替えをすべきではないか。

答 消防は、市民の安全・安心を守るため24時間対応を必要とする組織である。

広義な意見も含め消防力の強化と充実に努める。消防本部庁舎は、築32年が経過し、耐震を含め老朽化が激しい。消防広域化の指針に基づき検討する。

### 表紙のひとこと

## オペラ「ワカヒメ」ハイライト（赤磐市特別公演）

気持ちの良い秋晴れの11月4日（日）、「第19回全国生涯学習フェスティバルIN赤磐」のメインイベントのひとつであるオペラ「ワカヒメ」のハイライト公演が、山陽ふれあい公園のメインアリーナ特設ステージにおいて行われました。

今回はワカヒメ役の池田尚子さん、田狭（たさ）役の柁木和敬さん等が、ステージで公演の一部を実演されました。その声量や演技の迫力はすばらしく、舞台芸術というものを肌で感じたひとときでした。

問

政治とお金の問題で  
安井副市長も市長と同じ考えか

答

議員の良識、モラルのことは  
議会で議論を深めよ



梶野志郎議員

ている。これが除斥である。

政治と金の問題は議員個々の良識、常識、モラルによる行動が求められており、その点については議会内部で議論を深められたい。

問 私が尋ねたのは、副市長も市長と同じ考えかどうか、である。

答 市長と同じ考えである。

問 荒嶋市長から監査委員の選任について「法的に問題はないが、道義的に問題が残る」と言う意味の発言があったが安井副市長も同じ考えか。

答 監査の公正な執行を保障する趣旨のもとに個人的な利害を有する事件は監査することを禁止し

問 私には市長の考えとだいぶ違うように思える。小倉監査委員は監査の現場で除斥されている。何もなかったら除斥はされないが、どういう理由で除斥されたのか。

答 小倉議員は、小規模多機能型居宅介護事業所を営んでおりその部分に関する決算で除斥になっ

ている。

問 監査委員が除斥されるということは、道義的責任が問われているわけである。

責任の取り方について、例えば農林水産大臣等は自殺をしたり辞任をしたりしているが、本件の場合はどうか。

答 これはやはり本人の問題である。

議会の中で小倉議員を推薦してこられ、市長も提案をされましたが、できれば除斥しなくてもいいというのが理想であり、今後はそのような面についても議会と執行部とで検討していきたい。

問

災害発生時の危機管理は  
どうなっているか

答

職員初動マニュアルを作成し、  
いざという時に備えている



荻田敏正議員

問 最近、地球温暖化が年々進み、異常気象による集中豪雨、台風の大規模化等により、年々被害が増大する傾向にある。災害国日本では、全土の至る所で、地震・風水害等による被害が、発生するかも知れない状況にあり、そのためには、

何が起こっても対応できる危機管理が必要である。

①災害発生時の危機管理

②赤磐市地域防災計画・防災マップの周知徹底は

③各地域ごとの防災訓練

④机上研修は

①職員初動マニュアルを作成し職員に認識させ、いざという時の災害に備えている。

②共助が重要であるため、要援護者台帳の作成を進めている。

③地域・地区での防災訓練も考える。

④机上訓練が家庭・地域でできるよう推進する。

20年度に実施

業者指名資格要綱

問 食の安全や食生活を

通じ健康増進等を推進するための学校給食は、欠

かせない存在である。

①食材搬入業者の選定基準はあるか。

②契約書・契約期限はあるか。

答 学校給食は児童・生徒の心身の健全な発達に資するため、食生活の合理化、栄養の改善、健康の増進等を図るため実施している。

①業者指名資格要綱等を定め、適正な運営を平成20年度から実施する。

②米は売買基本契約書、牛乳は学校給食用牛乳供給契約書、小麦粉は年内使用申込書で契約をし、契約期間は1年である。



市民と一体で行われた防災訓練

## 建設工事等指名業者 選定枠の縮小理由は

### 入札制度の浸透で選定要綱の原則運用とした



下村 脩議員

**問** 入札参加資格審査要綱及び選定要綱の運用を本年7月1日より変更し、工事設計金額枠に対して参加資格枠を従来より大幅に縮小された。

**問** 入札参加資格審査要綱及び選定要綱の運用を本年7月1日より変更し、工事設計金額枠に対して参加資格枠を従来より大幅に縮小された。

**答** ①点数区分や業者の格付運用は、合併前の旧4町ではばらばら状態であった。新制度への移行による混乱を招かない為に、旧町での入札条件や地域性がある程度組み入れた運用にしていた。

合併後3年目に入り、業者間にも市の入札制度が浸透してきたと判断され、指名業者選定の原則により運用するものである。各業者本来の格付に応じた工事発注形態に移行するための措置である。



改良工事が進む市道宗慶線（下仁保）

②発注工事は、安全かつ適正な施工と質の確保が必要。単独発注では、工事設計金額区分に相

応する有資格業者の選定を原則としている。工事設計金額枠は、当面現在のままの金額で運用したい。

共同請負制度取扱要綱を変更し、共同企業体構成員の構成資格をC級の建設業者まで拡大した。

③市の建設工事部門の指名願の提出業者は約850者ある。市内産業の振興については、市内業者育成の観点から受注機会の公正を期し、地域的条件も勘案しながら業者選定に努めている。

## 市民にわかる 財政削減計画を

### 今年度は 4億円削減



小田百合子議員

**問** 財政難といいながら、大型事業の計画と着手ばかりが聞こえてくる。行革が見えてこないといわれている。

**問** 財政難といいながら、大型事業の計画と着手ばかりが聞こえてくる。行革が見えてこないといわれている。

**答** 本市の財政状況は大変厳しく、このまま資金を取り崩す財政運営を行えば、財政再建団体への転落も危惧される状況である。

行財政改革審議会からも指摘されている歳出削減計画を今月中にも策定する。市長の指示のもとで各部局が主体的に歳出削減に取り組む。



ATM（現金自動預払機）

**問** 何故市役所に銀行の設置を

ATMを設置してないのかとよく聞かれる。費用の殆どは設置する銀行が負担するものなので可能ではないのか。

**答** 指定金融機関である中国銀行にATM設置について打診した経緯がある。

銀行以外に設置する場合は管理コストが大きく抑制する傾向で、現在イブミ・マルナカ・生協・山陽団地2か所の5台あり、増設の計画は無いとのことであった。

ATM（現金自動預払機）



## 問 非核自治体宣言を 一日も早く実施を

## 答 非核機運の盛り上がり を見て判断する

**問** 1985年3月、86年12月にかけて旧4町は非核自治体宣言を行っている。

**答** 赤磐平和行進も今年26回目が行われている。市民の声に応え、一日も早く非核自治体宣言を実施せよ。

**答** 平和利用以外の核は決して受け入れられない。市民の皆さんの非核

機運の盛り上がり等を見きわめながら判断していく。

子供の医療費無料化の年齢引き上げを

**問** 周辺の自治体では、義務教育終了まで無料化

の方向で力を入れていく。市として来年度から年齢引き上げをしていただきたいがどうか。

**答** 平成18年10

月、就学前から小学校3年生までに拡大するなど制度の充実に努めている。

厳しい財政状況なので市長会を通じ、県に公費負担制度を就学前から小学校6年生まで拡大



福木京子議員

するよう要望している。今後も機会あるごとに要望していく。

障害者自立支援法の応益負担撤回を国へ要望せよ

**問** 障害者自立支援法での応益負担の撤回を国へ要望するとともに、昨年障害者団体から請願も出されており、市として独自の軽減策をぜひすべきと思うがどうか。

**答** 平成19年4月より2年間特別対策法が施行され、対策事業が実施されている。

市独自の施策は財政が厳しいことや他の制度との整合性もあり、国の制度の中での運用で御理解いただきたい。県市長会を通じて制度の充実を国へ強力に要望していく。

## 問 市立熊山病院を 医療・保健の拠点にせよ

## 答 公的病院として民間医療と 異なった対応をする



川澄章子議員

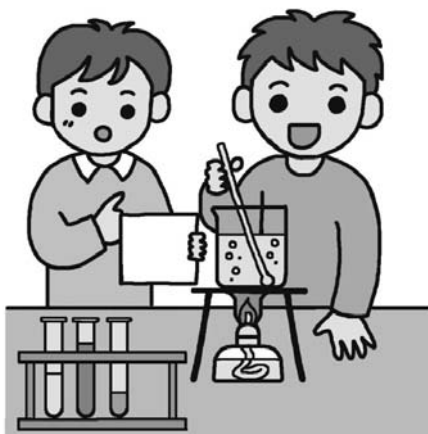
ど民間医療と異なった対応をしながら健全運営に努力する。

教育環境の整備を重視せよ

**問** 義務教育として過ごす9年間を、立派な市民に成長してもらうためにも最善の環境を作ってあげるべきだ。また教育費の10パーセント削減は、現場の先生たちのやる気をそぐものでやめるべきだ。そして学校ほか施設の整備も早期にできるようにすべきと思うがどうか。

**答** 交付税等含め、2億円を超える一般会計からの繰り入れの状況である。公的病院として、処遇困難なケースの受け入れ、退院者の受け入れな

うか。



学校で学ぶ児童

**答** 児童・生徒に直接に影響のある教育振興費については、適切な配分と効率的な予算執行により充実に努めていく。

市民生活中心の予算組みを

**問** 建設土木事業がめじる押しの中で、市民生活の実態を知り、市民の負担を軽くするために、一般会計からの繰り入れを断行し、市民生活中心の予算組みに変えるべきと思うがどうか。

**答** 基金繰り入れに依存しない財政運営をし、財源を有効活用をしていく。



藤田圭右議員

## 問 不登校児童・生徒の 状況と対応は

答 中学校にスクールカウンセラー  
を配置し対応

**問** 文部科学省の発表によると、年間30日以上欠席した児童・生徒が5年ぶりに増加した。中学生は全国的に35人に1人の割合であると大きく新聞報道があったが、状況と対応について聞きたい。

答 小学校1・7パーセ

**問** 「こんにちは赤ちゃん事業」事業については、子育て支援に関する情報提供や虐待防止にもつながる事業として、全国的に展開される新事業であるが、完全実施できているのか。また、成果はどうか。

答 ところで市としては初期対応の充実、または教育相談のあり方をテーマに研修等積み重ね、実践に結び付けようとしている。

また、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置し、不登校支援はもとより教育相談も行っている。



中学校のスクールカウンセラー室

**答** この事業は19年度から生後4カ月までの家庭を全戸訪問する事業である。4月～6月までの出生数が59人であったが、実際訪問したのは、52人である。

**問** 荒嶋市長も私も合併協議に関わり、期待と不安の中、平成17年3月7日赤磐市が誕生し、2年6カ月が過ぎた。「人いきいき まちきり」のスローガンのもと旧町の積み残し事業、道路、下水道の整備も進み、一体感が図られてはいるが、一方財政面に目を向けると厳しい状況にある。

**答** 合併協議の新市の建設計画及び総合計画による市民の参画と協働のまちづくりを基本に均衡ある発展と一体感の醸成を図るよう事業を展開して来たが、計画や財政見通しで難しさがあつた。



山口工業団地

## 問 企業誘致、施設の見直しで 財源確保せよ

答 企業誘致を積極的に行う



山田秀士議員

**答** 合併協議の新市の建設計画及び総合計画による市民の参画と協働のまちづくりを基本に均衡ある発展と一体感の醸成を図るよう事業を展開して来たが、計画や財政見通しで難しさがあつた。

今後の課題として歳出の削減はもちろん市の施設も計画的、合理的に見直す。

また、市民の就労の場、財源確保に企業誘致を積極的に取り組んでいく。

幼・小・中学校の  
統廃合について

**問** 合併でのまちづくりは施設の統廃合も含め、むだを排して行政の効率化を図っていくもので聖域はなく幼・小・中学校の統廃合も含まれていく取り組んでいくのか。

**答** 教育上の面から、適正規模化から統廃合は必要であり、教育委員会としても避けて通れない問題である。

20年度に審議会を立ち上げ教育委員会、市を上げて取り組んでいく。



## 問 備作高校跡地の活用は どうするのか

## 答 新たな活用方法を 検討していく



北川勝義議員

**問** 今までに一般質問した①備作高校跡地活用②直売所建設③農業振興④広域ごみ計画⑤行財政改革⑥サッカー場建設計画⑦公共墓地⑧指定管理についての実行性はどうか

**答** ①定時制高校の新設は認可されなかった。今後は福祉施設として活用方法を検討していく②JAと協議し進めていく③これ里ワイナリーについてはワインゼリーの製造販売を検討している。リピート吉井は抜本的に経営管理を検討する④施設は1カ所とし、熊山地域の石蓮寺、大畑地区を候補地として提案する。協

議会では、今後候補地の選定に向けて作業を進める⑤今年度は当初予算から一般財源ベースで約4億円削減する⑥桜が丘地内で候補地の比較調査を実施している⑦整備計画の概要がまとまってきている⑧あかまつ荘、つじ荘は起債償還が済めば払い下げも検討する。

**問** グラウンドゴルフ場工事で材料の無断変更があったが、今後他の業者が同様な事をした場合、市はどう対応するのか。

**答** 事案の内容により指名委員会で指名停止要綱に基づき協議し対処する。

**問** 小規模多機能型介護事業所について、市内の事業所数、利用者数及び個人負担は。

**答** 小規模多機能型介護事業所は2カ所、利用者は10人程度である。個人



備作高校跡

負担は食事代が1回300円、500円程度、宿泊の場合は1日1000円程度が必要である。

**問** 市税等滞納について幹部職員による徴収努力があったが、効果は。

**答** 7月8日（昼間）の一斉徴収では、38件102万5886円の徴収及び84件の納付約束ができた。また、8月27日～31日（夜間）では13件34万1300円の徴収及び56件の納付約束ができた。

**問** 学校教育について、学校等の統合を考え入れ、プール等の使用も市全体で利用できるような形態にしているのか。

**答** 公営プールと学校教育がお互いにマイナスにならないよう全体的な計画を立てていく。

## 議会を傍聴しませんか

本会議、各常任委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください。（本会議：定員30人、各常任委員会：定員5人）

また、本会議については、市役所本庁舎1階市民コーナーにモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。



1階市民コーナーのモニター



中継用カメラ



# りました

(平成19年11月8日現在)

各常任委員会及び特別委員会の構成が変更されました。

## 産業建設常任委員会

| 役職名  | 議員氏名  |
|------|-------|
| 委員長  | 山下 浩史 |
| 副委員長 | 荻田 敏正 |
| 委員   | 実光 守  |
| 〃    | 下村 脩  |
| 〃    | 羽原 章  |
| 〃    | 北川 勝義 |
| 〃    | 小倉 博  |

## 文教常任委員会

| 役職名  | 議員氏名  |
|------|-------|
| 委員長  | 松田 勲  |
| 副委員長 | 海野 雅之 |
| 委員   | 樫野 志郎 |
| 〃    | 岡崎 達義 |
| 〃    | 川澄 章子 |
| 〃    | 井上 稔朗 |

## 議会広報編集特別委員会

| 役職名  | 議員氏名   |
|------|--------|
| 委員長  | 岡崎 達義  |
| 副委員長 | 小田 百合子 |
| 委員   | 実光 守   |
| 〃    | 下村 脩   |
| 〃    | 藤田 圭右  |
| 〃    | 海野 雅之  |
| 〃    | 福木 京子  |
| 〃    | 大口 浩志  |

## 議会運営委員会

| 役職名  | 議員氏名   |
|------|--------|
| 委員長  | 小田 百合子 |
| 副委員長 | 荻田 敏正  |
| 委員   | 実光 守   |
| 〃    | 下山 哲司  |
| 〃    | 福木 京子  |
| 〃    | 山下 浩史  |
| 〃    | 松田 勲   |
| 〃    | 実盛 祥五  |
| 〃    | 岡崎 達義  |

## 総務常任委員会

| 役職名  | 議員氏名  |
|------|-------|
| 委員長  | 下山 哲司 |
| 副委員長 | 実盛 祥五 |
| 委員   | 山田 秀士 |
| 〃    | 黒崎 明  |
| 〃    | 佐藤 武文 |
| 〃    | 大口 浩志 |

## 厚生常任委員会

| 役職名  | 議員氏名   |
|------|--------|
| 委員長  | 福木 京子  |
| 副委員長 | 西山 和嘉  |
| 委員   | 森 重信   |
| 〃    | 藤田 圭右  |
| 〃    | 小田 百合子 |
| 〃    | 武本 一郎  |
| 〃    | 小引 美次  |

# 各委員会構成が変わ

9月3日、4日に行われた議長、副議長の改選に伴い、

## 交通問題調査特別委員会

| 役職名  | 議員氏名   |
|------|--------|
| 委員長  | 樫野 志郎  |
| 副委員長 | 荻田 敏正  |
| 委員   | 藤田 圭右  |
| 〃    | 西山 和嘉  |
| 〃    | 黒崎 明   |
| 〃    | 実盛 祥五  |
| 〃    | 小田 百合子 |
| 〃    | 下山 哲司  |
| 〃    | 福木 京子  |
| 〃    | 山下 浩史  |
| 〃    | 川澄 章子  |
| 〃    | 北川 勝義  |
| 〃    | 小倉 博   |
| 〃    | 松田 勲   |
| 〃    | 大口 浩志  |

## 下水道整備等調査特別委員会

| 役職名  | 議員氏名  |
|------|-------|
| 委員長  | 下村 脩  |
| 副委員長 | 松田 勲  |
| 委員   | 実光 守  |
| 〃    | 森 重信  |
| 〃    | 山田 秀士 |
| 〃    | 海野 雅之 |
| 〃    | 羽原 章  |
| 〃    | 武本 一郎 |
| 〃    | 下山 哲司 |
| 〃    | 岡崎 達義 |
| 〃    | 佐藤 武文 |
| 〃    | 福木 京子 |
| 〃    | 小引 美次 |
| 〃    | 山下 浩史 |
| 〃    | 井上 稔朗 |

## 一部事務組合議会議員（敬称略 / 年令順）

### ■ 柵原吉井特別養護老人ホーム組合

森 重信 海野 雅之  
西山 和嘉 下山 哲司

### ■ 東備農業共済事務組合

実光 守 荻田 敏正  
北川 勝義 小倉 博

### ■ 和気・赤磐共同コンポスト事務組合

藤田 圭右 北川 勝義  
小倉 博 松田 勲

### ■ 和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合

森 重信 西山 和嘉  
福木 京子 小引 美次

### ■ 和気北部衛生施設組合

武本 一郎 佐藤 武文  
山下 浩史 北川 勝義

### ■ 柵原、吉井、英田火葬場施設組合

実光 守 西山 和嘉  
下山 哲司

### ■ 和気老人ホーム組合

下村 脩 実盛 祥五

今回の改選による変更はありません

# 議長あいさつ

議長 井上 稔朗



9月定例議会において、黒崎明議長の後任として議長に就任いたしました。

議長就任にあたり、「議員になりまして2年少々」と議会経験も大変短く、未熟な点も多いかと思えます。議員の皆様のご協力をいただき、円満な議会にしていきたい。

また執行部と政策について議論し、議会内部においても政策議論を活発にするとともに、立法ができる議会にしていきたい」と

合併し2年半を経過した議会に対し、市民の皆様

反面、大きなご批判もあることも十分承知しております。

今後、当市においても行財政改革が本格化しますが、メリハリをつけ地域の隅々に潤いのあるまちづくりに努めてまいりたいと思っています。

また、議会改革についても課題となっている定数削減について、今年度中に結論を出すとともに、その他にも課題が山積しております。議員の皆様とともにより開かれた議会を目指し取り組みます。

今後とも議会に対し温かいご支援とともに、ご意見もお寄せくださるようお願い申し上げます。



## 組合議会紹介

### 和気老人ホーム組合

去る10月18日開催され、市から2人の議員が出席した。今回は、18年度の決算認定についてが主たる議案であった。老人ホームの運営は、構成市町（赤磐市、備前市、和気町）の分担金と、公費からの事務費負担金及び入所者の生活費負担金を主な歳入としてなされている。

3月末の入所者数は定員の50人いっぱい、赤磐市は6人であった。他に短期入所者5人のうち赤磐市は2人であった。

人件費節減のため、当初12人いた正規職員は年度末には10人とし、調理技術員や夜間介護員、生活相談員には、臨時職員で対応するなど努力が見られた。

#### 決算額について

##### 歳入総額

- ・ 1億6024万円
- ・ 分担金 4958万円
- （赤磐市661万円）

##### 事務費負担金

- ・ 7260万円

##### 生活費負担金

- ・ 3023万円

##### 繰越金

- ・ 722万円

##### 諸収入

- ・ 31万円

##### 財産収入

- ・ 30万円

##### 歳出総額

- ・ 1億4983万円

- ・ 議会費 45万円
- ・ 総務費 8319万円
- ・ 民生費 3161万円
- ・ 公債費 3458万円
- ・ 差引残額 1041万円

質疑のあと異議なく決算は承認された。



養護老人ホーム 藤見苑（和気老人ホーム）

## 12月定例会のお知らせ

次回12月定例会は、11月29日から12月20日まで、22日間の会期で開催予定です。

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

## 編集後記

9月議会は正・副議長の改選という思いがけない展開になりました。その結果、5月に3人が交代したばかりの広報編集委員会もまた、2人が交代して、5月以後5人のメンバーが入り代った事になります。

人が代わることで、違う見方やフレッシュな意見も入るようになり、新しい気持ちでの再スタートになりました。

皆様に議会の様子をお知らせするために新体制での8人が力を合わせて頑張ります。

### 議会広報編集特別委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 岡崎 達義 |
| 副委員長 | 小田百合子 |
| 委員   | 実光 守  |
| 委員   | 下村 脩  |
| 委員   | 藤田 圭右 |
| 委員   | 海野 雅之 |
| 委員   | 福木 京子 |
| 委員   | 大口 浩志 |